

第 120 回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成 21 年第 4 四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 21 年 9 月 28 日～平成 21 年 12 月 27 日までの約 3 か月
2. 新規 H I V 感染者報告数は 244 件（前回報告 249 件、前年同時期 292 件）で、過去 12 位
そのうち男性 235 件、女性 9 件で、男性は前年同時期（275 件）より減少しているが前回（234 件）とほぼ同数。女性は、前回（15 件）及び前年同時期（17 件）より減少
3. 新規 A I D S 患者報告数は 84 件（前回報告 96 件、前年同時期 110 件）で、過去 24 位
そのうち男性 80 件、女性 4 件で、男性は前回（89 件）及び前年同時期（104 件）より減少
女性は前回（7 件）及び前年同時期（6 件）より減少
4. H I V 感染者と A I D S 患者を合わせた新規報告数は 328 件で過去 14 位

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規 H I V 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 170 件（全 H I V 感染者報告数の約 70 %）
そのうち 159 件が日本国籍男性
 - 異性間性的接触によるものが 45 件（全 H I V 感染者報告数の約 18 %）
そのうち男性 37 件、女性 8 件
 - 年齢別では、特に 20～30 代が多く、40 歳以上では前回及び前年同時期より減少
2. 新規 A I D S 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 40 件（全 A I D S 患者報告数の約 48 %）
 - 異性間性的接触によるものが 26 件（全 A I D S 患者報告数の約 31 %）
そのうち男性 23 件、女性 3 件
 - 年齢別では、特に 30 代以上に多い。

【検査・相談件数の概況（平成 21 年 10 月～12 月）】

1. 保健所における H I V 抗体検査件数（確定値）は 27,887 件（前年同時期 41,238 件）、自治体が実施する保健
所以外の検査件数（確定値）は 6,604 件（前年同時期 8,538 件）
保健所等における相談件数（確定値）は 43,376 件（前年同時期 63,426 件）
前年同時期に比べ、抗体検査件数・相談件数ともに大幅に減少

【献血の概況（平成 21 年 1 月～12 月）】

1. 献血件数（速報値）は 5,287,101 件（前年確定値 5,077,238 件）
2. そのうち H I V 抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は 102 件（前年確定値 107 件）
10 万件当たりの陽性件数（速報値）は 1.929 件（前年確定値 2.107 件）

《まとめ》

1. 第 4 四半期は H I V 抗体検査件数が例年最も多くなる時期であったが、今年は検査件数が伸びなかった。
2. 12 月の検査件数は、12 月 1 日の世界エイズデーがあったにもかかわらず、ほとんど増加しなかった。検査普及週間のあった 6 月と比較しても抗体検査件数が少なかった。
3. H I V 感染者、エイズ患者ともに前回及び前年同時期と比較して減少したが、検査件数の減少と連動しているため、流行に歯止めがかかったとは言えない。
4. H I V 感染者においては 20 歳代、エイズ患者においては 50 歳以上の増加が目立ち、年齢の拡大傾向が認められる。

《平成21年 年間報告（速報値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成20年12月29日から平成21年12月27日までの約1年（四半期ごと速報値の合計）
2. 新規HIV感染者は1,008件で過去3位
3. 新規AIDS患者は420件で過去2位
4. 合計は1,428件（一日あたり約3.9件）で過去3位
これまでの最高は、平成20年（確定値）でHIV感染者1,126件、AIDS患者431件、合計1,557件。

【感染経路・年齢等の動向（速報値）】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが682件（全HIV感染者報告数の約68%）と最多
 - 異性間性的接触によるものが209件（全HIV感染者報告数の約21%）
 - 年齢別では、特に20～30代が多い
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが202件（全AIDS患者報告数の約48%）と最多
 - 異性間性的接触によるものが128件（全AIDS患者報告数の約30%）
 - 年齢別では、特に30歳以上に多く、特に30代で大幅に増加

【検査・相談件数の概況（平成21年1月～12月）】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数（確定値）は150,252件（前年177,156件）で過去3位。（過去最高は平成20年 177,156件）
2. 相談件数は193,271件（前年230,091件）で過去3位。（過去最高は平成20年 230,091件）

《まとめ》

1. 前年と比較して、検査件数が約27,000件、相談件数が37,000件減少した。その一因として、新型インフルエンザの影響を受けた可能性は否定できない。
2. 検査件数・相談件数が減少しているが、新規HIV感染者・エイズ患者ともに前年と比較して減少した。
3. 新規HIV感染者・エイズ患者に占めるエイズ患者数の割合は増加した。
4. 国民はHIV・エイズについての理解を深め、身近な問題として積極的に予防に努めるべきである。早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。